

かたむけ
おうちの方向け

ほけんだより

【プライベートゾーンについて学びました】

10月15日(金)に「じぶんの体をまもろう」をテーマに、プライベートゾーンについての授業をしました。

まず、『いいタッチわるいタッチ』という絵本の読み聞かせをしました。著者の安藤由紀さんは、「世界で人権活動をする1000人の女性たち」としてノーベル平和賞にノミネートされた、人権ファシリテーターです。優しい絵柄の動物が主人公となっており、とても読みやすい絵本です。

プールに行った3人の子どもたちが「くちとみずぎでかくれるばしょ(プライベートゾーン)は、じぶんだけのたいせつなところ」とおそわります。そして、人を愛したり守ったりするいいタッチと、人に暴力をふるい權利をうばうわるいタッチを知って、自分を守る力をつけようと呼びかけています。プライベートゾーンは「見るのも触るのも自分だけ」、「他人にさわられそうになったときはいやだと言う、逃げる、大人に言う」、「もし言えなくとも自分は悪くない」ということを伝える内容です。

授業の始めに子どもたちに対して、みんなは一人ひとりがかけがえのないとても大切な存在であること、そんなみんなを守るために、みんな自分が自分を守る方法を知ることが、とても大切であることを伝えました。読み聞かせの後に絵本の内容にふれながら、自分の体の仕組みや男女の体のちがい、守らないといけないプライベートゾーンのルール、もしもの時にとるべき行動を学びました。終始、しづかに真剣に聞いていた子どもたちでした。

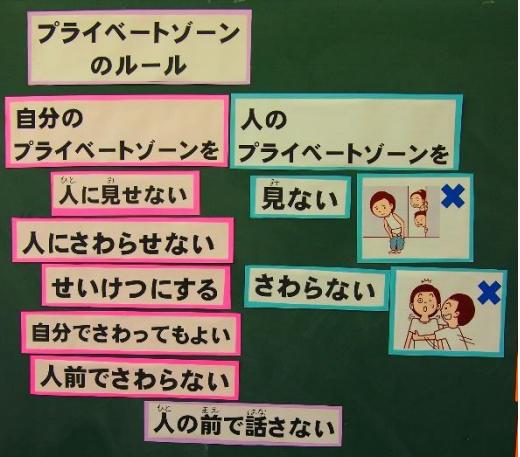
また、けがや病気のときはプライベートゾーンであっても、自分を守るためにおうちの人や医師に診てもらうことが大切であることも伝えました。保健室でも、けがや体調不良の子どもの様子を確認する場合は、必ず事前に本人に確認し、同意を得てからみています。「先生にみせにくいときは、おうちの人に連絡するからいつでも言ってね。」とも伝えています。

プライベートゾーンとは、口と、水着で隠れるところのことを指します。水着で隠れるところは、胸、性器、お尻のことです。性器は、体の中につながる、命につながる臓器であり、男女でちがいがあることを押さえました。自分だけの大切な場所だから、下着や服を着て守っていることをかくにんを確認しました。

かどましりつすなごしょうがっこう
門真市立砂子小学校
ほけんしつ ねんせいとくべつこう
保健室 3年生特別号
2021.10.20(水)



勉強や相談、病気やケガのとき以外には、おもしろ半分でプライベートゾーンや体のことについて、人前で話をしないことを学びました。学校では特に体操服に着替えるときに、人のプライベートゾーンをのぞかない、そして自分のプライベートゾーンを見せないように気をつけよう。また、プライベートゾーンでなくとも、人の体に触れるときは相手の気持ちを確認することが大切であると伝えました。



もしも、プライベートゾーンのルールをやぶる人に出会ったときに、自分を守る方法を学びました。「にげる」「ことわる」はとっさの場合できないかもしれないけれど、それは決してみんなが悪いわけではないということ。信じて話せる「大人に言う」ことは必ずしてほしいと伝えました。また、そのルール違反をする人は、「あやしい、知らない人」だけではないということも伝えています。



ご家庭でも今回の授業をきっかけに、プライベートゾーンのこと、性のこと、自分を守ることなどについて、話していただければと思います。性教育はいのちにかかる教育です。学校と家庭で協力して行っていくことが重要だと考えています。授業の内容等でお聞きになりたいがあれば、いつでも保健室の長浜までお問い合わせください。



【授業の参考・引用した本のご紹介】

おうち性教育はじめます 一番やさしい!防犯・SEX・命の伝え方 著者:フクチマミ 村瀬幸浩
イラストレーターで二児の母であるフクチマミさんと、高校・大学教員を経て長年性教育に携わってきた村瀬幸浩先生によるコミックエッセイ。性教育とあるとハードルが高いかもしれませんのが、本書は「子どもが幸せに生きるためにどんな手助けができるか考える」という視点から、知識だけでなく、幼児期からの声かけや接し方についてもまとめています。わたしはじめなどよみじゅぎょうのぞみましたおすすめいつづく私自身も何度も読み、授業に臨みました。オススメの一冊です。

